



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町 5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ

2019年11月会報

第371号

主 題 ・ 標 語

国際会長(I P) Jennifer Jones (オーストラリア)

主 題 より良い明日のために今日を築く Building today for a better tomorrow

標 語 さあ動こう On the MOVE!

アジア太平洋地域会長(AP) 田中 博之(東京多摩みなみ)

主 題 アクション! Action!

標 語 誇りと喜びをもって With pride and Pleasure

西日本区理事(RD) 戸所岩雄(彦根シャトー)

主 題 風となれ、光となれ

副 題 こころ豊かにあるために、輝くために

六甲部長 柏原佳子(芦屋)

主 題 スピンネーカーの帆に風を集めて

宝塚クラブ会長 多胡葉子

主 題 ときめきライフをワイズ活動で!

今月のテーマ: Public Relations Wellness

ワイズデーを利用して、地域の人やマスメディアを巻き込んで社会的認知度を高めましょう。

加藤信一 広報・情報委員長(京都トップス)

2019~2020

役 員

会長 多胡 葉子 直前会 青柳 美知子
副会長 石田 由美子
書記 若林 成幸
会計 小林 康男 堀江 裕一 吉田 明
会計監査 加藤 光信 今田 和子
連絡主事 谷川 尚
メネット連絡 福田素子
六甲部地域・環境主査 青柳 美知子

誕生日

西川 弘子(2日)
重松えみり(11日)
多胡 進(26日)

10

月

実

績

例会出席者数 18名
在籍会員数 21名
出席会員数 12名
出席率 57.4%
メイクアップ(内数) 0名
メネット 2名
コメント・孫メット 1名、
ゲスト・ビジター 3名
例会充足率 85.71%

BFポイント 10月 3,423円
累 計 13,421円
にこにこBOX 10月 0円
累 計 29,500円
ファンド(物品販売) 0円
累 計 9000円

日 時 : 2019年11月13日(水)18:30
場 所 : 宝塚ホテル 翡翠の間
会 費 : 会員 3,100円 会員以外 3,500円
ドライバー 福田宏子 武田寿子
開会点鐘 多胡葉子会長
ワイズソング 全 員
聖書朗読 福家清美
祈 禱 堀江裕一
ゲスト・ビジター紹介 多胡葉子会長
会 食

お 話 し
「ベトナムでのボランティア活動」
さくら眼科クリニック院長 関山 英一氏

YMCA 報告
誕生日のお祝い 多胡葉子会長
ニコニコファンド
閉会点鐘 多胡葉子会長

聖句

16 わたしには、この囲いに入っていないほかの羊もいる。その羊をも導かなければならない。その羊もわたしの声を聞き分ける。 (ヨハネ10章16節)

随想

ヨハネ福音書でイエスはしばしば自分を比喻で表現します。10章9節ではこう言われていました。

「わたしは門である。わたしを通して入る者は救われる」。その門を通して入る者とは、囲いの中にいる羊、すなわち教会の中にいるキリスト者のことでしょう。しかし、その言葉を修正する、あるいは補うかのようにイエスはこうも言われる。「わたしには、この囲いに入っていないほかの羊もいる。その羊をも導かなければならない」と。すなわち、イエスに養われ、導かれている羊は、囲いの中にいる羊だけではない。イエスに導かれ、イエスの声を聞き分ける羊は囲いの外にもいる。教会という囲いの外でイエスの声を聞く人々がいる。その人々もまた、イエスにとっては大事な羊だと言うわけです。

教会という囲いの内側にいる羊の群れも、その囲いの外側にいる羊たちも、「一人の羊飼いに導かれ、一つの群れ」であるとイエスは言われる。YMCAが持つ大事な働きの一つは、この「外側の羊」に働きかけることではないでしょうか。囲いの外にも、イエスを通して示された神の愛を表していく。この広い意味での

「伝道」こそ、教会という枠を超えて働く集まりに委ねられた務めだと思います。

辻学

《 11 月ゲスト 》



関山 英一氏 プロフィール
京都府立医科大学卒・医学博士
さくら眼科クリニック 院長
京都府立医科大学眼科 客員講師
兵庫県東部地区眼科医会 理事

10月第1例会報告

10 月 8 日 (水) 午後 6 時 30 分より、宝塚ホテル翡翠の間において、神戸市でマナ助産院を開業されるかわら、「小さいのちのドア」の活動をされている永原郁子氏をゲストにお招きして開催されました。出席者は総数 18 名と少なかったのですが、永原郁子氏の素晴らしい活動に皆熱く感動いたしました。



日本では現在、年間18万人の尊い命が妊娠中絶により奪われている状態であり、また望まぬ妊娠のため悩んでいる女性が大勢います。こうしたことから2000年には「いのちと性」の大切さを伝えるため、性教育グループ「いのち語り隊」を立ち上げ、幼稚園、小中高校等年間120か所で講演をされています。

また予期せぬ妊娠のため、相談する人もなく一人悩み苦しむ挙句の果てに、生まれたばかりの赤ちゃんの命が奪われてしまう悲劇も少なくありません。こうした女性を救うため、「小さいのちのドア」の活動を2018年9月より、始められました。「小さいのちのドア」は思いがけない妊娠や、出産や育児で追い詰められた女性のため24時間安心して、無料で相談できる窓口で、一緒に幸せになる解決策を考えることができます。

また、将来は安心して妊娠中を過ごすことができるマタニティホームを建設したいとの熱い想いをも語られました。永原様の今後の益々のご活躍を支援していきたいものです。

小林康男

10月第2例会報告

10 月第 2 例会は、10 月 16 日 (水) 18:30 から宝塚市西公民館のパーティー室で行った。出席者は、多胡会長、石田、長尾、小林、今田、若林各メン。議事要旨は次の通り。

1. 11 月と今後の例会運営について

- ①11/13、例会の卓話に、眼科医・関山英一氏を招き「ベトナムでのボランティア活動」を聴く。
- ②12/11、18 時開始。土佐堀・大阪センテニアルとの3クラブ合同クリスマス例会を開催。クリスマス礼拝(チャペル)のメッセージは宝塚教会 浦上牧師、Org.船木さんに依頼スミ。懇親会(シルバーの間)の詳細は 10/22, 10/29 に 3 者世話役により協議。チラシ・プログラム等を作成予定。会費 5,000 円。
- ③卓話ゲストについて、日中経済貿易センター、相談役 青木俊一郎氏が提案され、3 月度候補として調整することとした。1 月・2 月ゲストは未定である。
- ④現宝塚ホテル閉鎖後の例会運営について、西公民館で行う場合の部屋選択と食事調達が課題であるが、パーティー室は収容人数 max36 名でクリアーと判断。仕出し弁当;京弁当「夏鈴」と売布ピピア市場まちこの弁当、各@1300 を試食した。前者は、綺麗・美味・リーズナブルに対し、後者はボリューム満点。11 月第2例会にて「まちこ」のボリューム減@1000 円弁当を試食する。

2. キャロルを歌うタベについて

“チラシ”は多胡三千子さんの手により完成、10 月中に印刷を終え、各クラブ、YMCA、教会などに配布の予定。裏面には舞台写真付きの PR 文を掲載し、運営協力要請に用いる。

3. チャリティーランの準備

11/4(月)チャリティーランの参加者、買い物分担、運送手段を確認した。当日 8:00 ホテル前集合、3台の車に分乗する。

4. 六甲部 CS 事業について

11/16(土)14~15:30 神戸 YMCA。六甲部 CS 事業(主宰:青柳美知子主査)として「地球温暖化対策、プラスチック海洋汚染について」の講演会が開催される。講師は、兵庫県地球温暖化防止活動推進員竹谷輝男氏。入場無料。

5. ジャガイモ

10 月 19 日 9 時、大林邸に入荷。荷下ろし作業を、リーダー3 名と有志で行う。

7. ブリテン 11 月号の編集について

長尾メンから編集方針と寄稿分担、日程の確認がなされた。

8. 次期会長・役員について

多胡会長から次期会長候補について発議があり協議した。結果、会長未経験者への打診から始めることになった。

9. その他

若林メンから「六甲部ワイズ起こし特別委員会」の現況報告があった。

書 記 若林 成幸

部会に参加して

《 中西部部会 》

10 月 5 日に中西部部会が開催され宝塚クラブから長尾、多胡 の二人が参加。

茨木スカイレストランで開催された部会は茨木クラブの掛谷太郎中西部部長とホストクラブの茨木クラブが地域の中で活躍するクラブとしての大切さの一環として示された場所選びだったとのこと。

約 80 人の参加の元バナーセレモニーから始まり、茨木市市長、来賓方の挨拶あり、基調講演へと進んだ。



基調講演はタレントで羽衣国際大学教授、スリランカ出身の「にしやんた」氏。彼は来日して京都 Y で日本語を習得、そして見事な話術に会場を沸かせたスピーチだった。

食事と共に懇親の楽しい輪がひろがっていった中で二人の若い素敵な女性がバイオリンの二重奏を奏でながらの登場。食事中でしかもお酒も入り、全員がワイワイ、ガヤガヤと懇談に酔いしれている中でのバイオリン演奏。テーブルの合間を素敵なメロディーが奏でられ全員その迫力と演奏の素晴らしさに酔いしれた。彼女達はインドでストリート

チルドレン達のための演奏会に出演した時にストリートで物乞いをしている同じ子供たちとは思えない音楽を

通しての子供達の笑顔と集中力に感動を覚えたとのこと。それ以来音楽を通して子供達を笑顔にとの思いで演奏を続けているグループのお二人の演奏。心に一層豊かさを覚える時をみなさまと共有させていただいた懇親会であった。

多胡葉子

他クラブ例会訪問

《 神戸クラブプレ90周年記念講演会 》

10 月 8 日午後6時30分から神戸 YMCA チャペルで神戸クラブ 10 月の例会として開催されたプログラムに参加。

講師は歴史学の専門家で園田学園名誉教授田辺真人先生。

田辺先生は宝塚クラブでも二度ほどスピーカーとして来ていただいたお馴染みの先生です。

地域に根差した歴史の研究をされている先生から「明治維新150年、神戸ワイズメンズクラブ90年 日本生活史と我々の時代」の演題でお話を伺った。

急速に変化している日本人の群れである国民、人種、民族に関して日本の文化は50年前とは全て変わってAIが私達の生活に大きく関わってきている。そのことを踏まえて現在の考え方を一新していく必要が今後のワイズ活動、YMCA 活動にはたいせつになるのではと話された貴重なお言葉を頂いた講演であった、

多胡葉子

《 大阪センテニアルクラブ例会 》

10 月 16 日午後 6 時半からの大阪グランヴィアホテルでの大阪センテニアルクラブの例会に出席してきました。中村茂高会長の開会点鐘の後、ワイズソングの一番を英語で歌うというのはとても新鮮に感じました。ミニ健康講座としてYMCA総合研究所の副所長重信直人様の「フレイル予防で支える元気な人生」フレイルとは高齢者の身体や認知の機能が低下して虚弱状態を言うそうです。対策を取れば再び元気な状態に戻れるというお話でした。予防介護からフレイル予防へ。食べる力は生きる喜び、栄養改善でフレイル予防、運動機能向上プログラムなど地域でのフレイル予防活動の大切さを教えられました。



また入会を考えておられるソニー保険の武田善博さんの「保険のあれこれ」は保険で知っていないことも多くあるなど改めて自分の入っている保険がどんなものか知る必要があるなと思いました。大阪センテニアルクラブの皆さまに温かく迎えて頂き感謝の気持ちいっぱいです。12月の合同クリスマス例会がとても楽しみになりました。楽しい交流が出来たらと思います。

鯖尻佳子

10 月 16 日(水)芦屋クラブ第一例会が(公財)メイク・ア・ウィッシュの大野寿子理事により「夢の実現が人生を変えた」と題して竹園ホテルで 7:00p.m.より開催された。

87 年、商社マンのご主人様と渡米され、91 年帰国。94 年、メイク・ア・ウィッシュの活動に出会われ参加、後に事務局長になられ、2016 年 2 月にその職を退いたものの、理事として講演活動を続けておられる。

「メイク・ア・ウィッシュ」は「難病と闘う子供の夢をかなえる」ことを目的とした国際的なボランティア団体で、難病と闘う子供たち、一人一人が心に描いている夢を、そんな夢を実現するために、準備、資金、労力・・・など、あらゆる便宜を可能な限り提供し、その夢を実現することによって、子どもたちに生きる力や病気と闘う勇気を持ってもらいたいというのが、このボランティアの願いである。

この活動は 1980 年、アメリカで始まり、白血病と闘う 7 歳の少年の「おまわりさんになりたい」という夢をかなえるために、準備、実現へととなったものの、その 5 日後、彼は天国へ召されたのであったが、彼の輝く笑顔は「夢を持ちながら病気と闘っている子供は他にもたくさんいるに違いない」という想いを、多くの人々の心に残した。日本では、1992 年沖縄で始まり、1994 年事務局を東京に移し、現在では国内各地に支部が誕生し、全国的に活動を展開している。

大野寿子氏は「旅の終着点の甲子園で、憧れの赤星選手に会いたい」という筋ジストロフィーにかかっている吉村和馬君の話をされた。彼は病気を「僕のトロフィーです。病気は宝物。僕はこの病気になって神様から、色んな宝物を貰いました。それは友達と仲間です。病気は治ってほしいけど、筋ジスは、僕のトロフィーです。」と自分らしく病気をとらえている。

また、物語を考えるのが好き、絵を描くのが好き、「自分の絵本を出版したい」という、清水美緒ちゃん。『一番大切なもの』という本を、つくりたいという夢。9 歳の時に急性リンパ性白血病を告知され、画家の手を借りながら、自分の絵本を病気の子どもたちにプレゼントしたい・・・同じように病気と闘っている子供たちに、元気を出してほしいから・・・という他者を思いやる心。一冊、一冊に挟まれた彼女の短冊には「辛いのは、君一人だけじゃないよ。皆で一緒に頑張っていこうよ。さあ皆で健康そだてよう1」と書かれていた。その絵本は、突然の発病、入院、大変な治療に耐え、退院そしてすぐさま再発した、美緒ちゃんが天国に召された翌日に発行された。短冊のメッセージの下には、9 人の子供たちが、笑いながらまあるくなって、手を繋ぎ、踊っている絵が描かれていた。美緒ちゃんが言いたかったこと。それはきっと、手をつなぐ仲間がいること、家族がいること、それが一番大切な宝物なんだよということを我々に伝えているのでは?と会場の皆が胸の熱くなる体験談を披露してくださいました。



そして、柏原六甲部部長からは宝塚クラブにクリスマス・キャロルと STEP 事業で多胡会長のマゴメット：石田大樹君の活躍等が評され、「CS活動支援金」として5万円を拝受してまいりました。感謝です。会場で集められた、ニコニコ献金は満場一致で「メイク・ア・ウィッシュ」に寄付されました。

福田 宏子

じゃがいも事業

10 月 19 日 (土) 朝 9 時に十勝クラブよりジャガイモ 10 kg 入 310 ケースが大林様宅に到着、YMCA リーダー等の応援をいただき、あいにくの雨模様のお天気でしたが、何とか雨にもぬれずに、無事に荷降ろしを完了しました。

その後は皆様のご尽力により、無事完売することができました。ご協力ありがとうございました。

おかげさまで約 20 万円の利益がみこまれます。

あとは売上金の回収だけですが、よろしくお願いいたします。



じゃがいも事業委員長 小林康男

【 西宮Yわいカーニバル 】

10月20日(日)西宮YMCAに於いて開催された西宮Yわいカーニバルに初めて行かせて頂きました。当日はお天気も良く可愛い園児たちや親御さんの参加でとっても賑わっていました。金券も売られていて西宮クラブの方々はカレー販売やバザーを担当されていました。園児の小さな椅子に座って童心に返り園児たちに交ってカレーやうどん、ソフトクリームを頂きました。子供達の好きな綿菓子やソフトクリームが販売され楽しそうな可愛い声が園内に響いていて私も子育ての頃を思い出していました。

昨今はいじめの問題もあって子供達の楽しそうな様子には心癒されました。子供達がみんな幸せに育ってほしいと願わずにはいられませんでした。またラッキー抽選券も販売されていて抽選会も楽しく企画された西宮YMCAの皆様やリーダーの方々また西宮クラブの皆様に感謝しつつこれからもこのようなバザーの開催を続けてほしいと心から願いながら帰路につきました。



鯖尻佳子



YMCA だより

1. YMCAセミナー2019

日本と韓国の関係に緊張が高まっていますが、そもそもの両国間の隔たりはどこから来ているのでしょうか。YMCAではセミナーとして日本と朝鮮半島について学びの時を持ちます。

日 時: 2019 年 11 月 2 日 (土) 15:00-17:00

場 所: 三宮会館

詳細は <https://www.kobeymca.org/data/pdf/20191102.pdf>

2. 災害支援開始のご案内

今秋、日本を立て続けに襲った台風のため、未だ日常を取り戻せていない地域が各地にあります。YMCAのネットワークを通じて、ワイズメンズクラブと協働のもと支援のための動きを始めていますが、ぜひワイズのみならず多くの方を巻き込む中で、支援の輪を広げたいと思っています。ワイズでもアナウンスされていますが、何卒ご協力お願いします。

その他、音楽イベントなど各種予定をしています。

最新情報は、<https://www.kobeymca.org/> をご覧ください。

2019-2020 宝塚ワイズメンズクラブ 事業・特別事業

事業委員		(委員長)		特別		(委員長)		
	Yサ・ユース	武田 壽子	西川 勝久	事業委員	NGO 連絡協議会	鯖尻 佳子	堀江 裕一	福家 清美
	地域・環境	青柳 美知子	風早 寿郎		じゃがいも	小林 康男	吉田 明	風早寿郎
	EMC	若林 成幸	鯖尻 佳子		市民クリスマス	若林 成幸	吉田 明	長尾 亘
	広報・ブリテン	長尾 亘	福家 清美		"		石田由美子	多胡 葉子
	交流・ファンド	福田 宏子	石田由美子					

第15回
チャリティ市民クリスマス
～YMCA国際協力基金・災害復興支援募金～

キャロルを歌うタベ

日時: 2019年12月20日(金)
午後7時開演 (30分前開場)

場所: 宝塚ベガ・ホール(入場無料)

プログラム

第1部 朗読と音楽でつづるクリスマス物語
オルガン: 崎本晴子 ピアノ: 北野友梨・平高敦子・坂部友淳
合唱: アンサンブル・タカボ
独唱: 田中良和(テノール)
合唱: 2019市民クリスマス合唱団・宝塚厚生幼稚園年長児・
劇団: 主イエスは我らの喜び(バツハ作曲カンタータ147番より)
青少年のためのアヴェ・マリア(松下 耕作曲)
リコーダー協奏曲二短調Op.9-2より(アルビノーニ作曲)
遙かなるクリスマス(さだまさし作詞・作曲) ほか

第2部 みんなでキャロルを歌おう
ベル合唱: ホッペン・パンゴーズ
ゴスペル合唱: 宝塚厚生幼稚園の33母さん
関西学院大学(21年キヤンパス)
アベニマ "マハロ"
キャロルを歌おう: キャロルの花束
フィナーレ: ハレルヤ・コーラス

主催: 神戸YMCA・宝塚ワイズメンズクラブ

協力: 日本キリスト教団宝塚教会・甲東教会・宝塚厚生幼稚園・ワイズメンズクラブ国際協会西日本区六甲部

後援: 宝塚市・宝塚市教育委員会・宝塚市国際交流協会・宝塚市文化財団・関西学院同窓会宝塚支部

連絡先: 若林成幸 090-9708-0071 shige-wakabayashi@nifty.com

2019～20 年度六甲部地域奉仕・環境事業講演会

地球温暖化対策、 プラスチック海洋汚染について

私達も学ぼう もっと知ろう

日時: 2019年11月16日(土) 午後2時～3時30分
場所: 神戸 YMCA 308, 309号室
(神戸市中央区加納町2丁目7-11 電話 078-241-7201)

講師: 竹谷 輝 男氏 (兵庫県地球温暖化防止活動推進員)

講演の後、少しの時間、私達に出来る事を話し合います。

主催: ワイズメンズクラブ六甲部
地域奉仕・環境事業委員会
問合せ先: 六甲部地域奉仕・環境主査
青柳美知子 (090-2193-8301)